



# 学びのみちしるべ 第4回

大学での学びの中身と、その学問が社会でどう役立つのかを大学の先生が解説。進路選択のみちしるべとなるよう、高校での学びがその学問にどうつながるのかもお聞きしました。



## 政治学

【お聞きした先生】>> 慶應義塾大学 法学部 小林良彰教授

Q この学問の内容、面白さは？

A **社会的課題を発見・分析し、制度や法律などを改正し、「こうあるべきだ」と提言できるのが魅力**

「憲法を変えたい」「いや、変えたくない」、あるいは「消費税は現状維持で」「いや、10%に引き上げた方がいい」など人によって考え方は違います。しかし、こういうテーマについて社会の決定は一つしかありません。では、多様な意見の中からどうやって社会的決定・公共的決定をくだすのか？ それを考えるのが政治学です。

同じように社会的決定を扱う学問に経済学がありますが、経済学がマーケットで決定するのに対して、政治学はマーケットで決められないものを扱います。例えば、今の日本には保育園不足という社会的課題があります。この解決のため、フランスやスウェーデンなど、子育て先進国ではどうしているかを調べて分析し、現実的な改善策を打ち出し、提言していきます。政治学に近い学問の法学では、でき上がった法律の内容、司法の解釈などを中心に学びますが、現実に合わせて法律の改正を提言したり、新しい法律を立案するのが政治学になります。

私の研究の一つが「代議制民主主義」。「日本の民主主義は機能しているか？」を実証的に調べています。具体的には国会議員一人ひとりの国会での発言などを調べ、選挙公約との程度、一致しているかを分析。これをもとに民意が反映されやすい選挙制度の提言などを行っています。私自身は、データを用いた計量分析を行うことで、科学的で実践的な政治学を目指しています。このように政治学は、教育、公共政策、安全保障、医療制度など、社会のさまざまな問題の中から自分の関心に合わせてテーマを選択して研究できる学問です。課題に対して具体的な解決策を提言し、より良い社会づくりに貢献できる、それが政治学の何よりの魅力です。

Q 社会でどのように役立つ？

A **社会の課題を発見、解決する手法を学びリーダーに必要な能力が身に付く**

政治学では、具体的な社会的課題を発見し、研究プロジェクトの企画・設計・遂行から完成までを経験します。こうした経験を通して、課題を設定し、解決する力、すなわち社会のリーダーとして必要な能力が身に付きます。少子化、財政再建といった社会的課題に取り組み、国家公務員、地方公務員になった時、大いに役立ちます。ちなみに私の研究室から巣立った卒業生には公務員、新聞社・テレビ局などのマスコミをはじめ、メーカーや商社など民間企業で活躍している人も多くいます。政治学科で学び、弁護士になる人も意外に多いです。

Q 高校の科目とのつながりは？

A **直接関わりがあるのは政治経済。英語も苦手意識がない方がいい**



「政権交代」(小林良彰著 中公新書) 日本の民主主義がうまく機能しているかどうかを分析した一冊です。

科目で直接関連してくるのは政治経済や現代社会です。また、海外の制度や国際関係を調べる上で英語は好きな方がいいでしょう。さらに勉強以外にもニュースなどを見て、日頃から社会で何が起きているか、どこがおかしなところはないかという問題意識をもつようにしてください。ちなみに私自身は、法学と政治学のどちらに進むか迷いましたが、法学は民法、刑事法などが履修科目に並んでいたのに対し、政治学はアメリカの政治とか民主主義論と書かれていて、「こちらの方が面白そうだな」と思って政治学へ進みました。大学の履修科目を見ると、どこに興味をもてそうかヒントになると思いますよ。



## 農学

【お聞きした先生】>> 東京農業大学 農学部 多田耕太郎教授

Q この学問の内容、面白さは？

A **人と自然との共生を実現する方法を研究する学問。食生活を安定させるために大切なのが食品加工学**



学生たちが実習で作ったハムとベーコン。毎年秋に開催する「収穫祭」で飛ぶように売れるそう。

農学は社会に役立つ生命科学系分野を包括した総合科学といわれています。命に触れ、生き物を育てる方法を研究するとともに、そこで得られる知識や知恵を生かし、人間が自然と共生し、持続的で安定した食料生産を実現するための方法を研究することが農学のメイン。最近では遺伝子などの分子レベルでの研究や、農業経営、農業政策など農業が利益を出せる仕組みづくりの研究も農学に含まれており、研究分野はますます幅広くなっています。

農学を広く捉えると農畜水産物などが研究対象になり、私の専門は畜産物利用学。肉、乳、卵などを利用した食品加工の研究を行っています。例えば、ハムやソーセージなどの肉製品はプリプリとした弾力性を出すために塩分が欠かせません。このため加工の段階で既に2%ほどの濃度で塩分が入っています。しかし日本人の食生活は塩分が高く、高血圧などを引き起こすことが問題になっています。そこで私の研究室では減塩化を実現する加工技術の研究を進めています。

また、牛や豚の内臓は「低・未利用部位」と呼ばれ、栄養価が高いにもかかわらず、臭みが強いので廃棄されることが多いのですが、これはあまりにもったいない。そこで豚のハツ(心臓)の臭みを消し、誰もがおいしいと感じるソーセージに加工する研究も進めています。実は牛や豚の内臓の廃棄にはお金がかかります。単に栄養価だけの問題ではなく、食品加工することで経済的な効果を生み出せるというわけです。豚のハツのような低・未利用部位を加工し、おいしいと言ってもらえる食品や、今までにない食品を開発し、世の中に送り出せるのがこの研究の醍醐味です。

Q 社会でどのように役立つ？

A **これから成長する産業として農業が注目されている！卒業生は食品メーカー他、異業種の商品開発でも活躍。**

卒業生の多くは食品メーカーへ就職し、商品開発などに携わっていますが、公務員、理科や農業高校の教員になる人も多くいます。農家の後継者だけでなく、サラリーマン家庭で育った学生でも、新規就農を目指すケースが増えています。さらに、航空会社の機内食、鉄道会社のお弁当などの商品開発に携わるケースもあります。農学部出身の学生は食材や加工食品の情報が豊富だと評価され、重宝がられているようです。

Q 高校の科目とのつながりは？

A **生物の知識は必須。日々食べているものがどこから来ているか意識してほしい**

生き物の仕組みを知るうえで生物の知識は必須です。化学の知識もあった方がいいですね。実験結果の評価で統計学の知識も使うので、数学も苦手意識をもたない方がいいと思います。そして私たち人間の豊かな食生活を維持するために、毎日、どれだけたくさんの動物が命を落としているか、気付いてほしいですね。そうした感謝を忘れず、動植物に興味をもち、触れ合うことも大切です。また、自分たちの生きている環境はどういうものなのか、今、手にしている食品はどこからやってきたのかなどを日々の生活の中で意識してほしいと思います。農業がすぐ身近で欠かせないものだとわかるはずです。

### スタディサプリ 進路

### 志望理由・小論文指導教材セットのご紹介

強みや性格を把握したうえで、自分の言葉で志望理由を書けるようになることを狙った教材セットです。ぜひ、ご活用をご検討ください。

自分を  
知る

自己理解・適性診断  
自分の適性のある分野・学問などを、  
見開きで簡潔に把握できる適性診断テストです。

情報  
を集める

学校情報冊子／志望理由・小論文BOOK  
志望理由づくりに必要な基礎観点や、  
書くための素材となる学校情報調べが可能な、テキストセットです。

整理  
をする

オリジナルワークシート  
自分1人の力で書けるようになることをねらいとして、  
目的に合わせてお選びいただけるワークシートです。

【教材に関するお問い合わせ】 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ まなび事業本部 高校支援統括部 (フリーダイヤル) 0120-200-905 受付時間：月～金(祝日・年末年始を除く) 9:00-18:00 ※お問い合わせ後、ご活用に向けての詳細を担当者より別途ご案内させていただきます。